

図書館だより

vol.3

発行日
令和2年10月12日(月)
発行元
学習指導部図書館係

～新着図書特集～

お待たせしました！新着図書が入りました。最新の芥川賞・直木賞受賞作を始め、人気作家の小説から、ノンフィクション、趣味、悩みを抱えている人に、恋人のいる人に…。様々なジャンルを取りそろえました。たまには自分の視線を、スマホの画面から一枚の紙に落としてみるのも素敵ではないですか。

第163回芥川賞受賞作



書名：破局
著者：遠野遙
出版：文藝
★ふたりの女を行き来する、いびつなキャンパスライフ。28歳の鬼才が放つ、新時代の虚無。



書名：首里の馬
著者：高山羽根子
出版：新潮
★世界が変貌し続ける今、しずかな祈りが切実に胸にせまる感動作。

第163回直木賞受賞作

お薦めポイント(読後感想)



書名：少年と犬
著者：馳星周
出版：文藝春秋

先日、作者の馳氏がインタビューに答えていた。編集者に言われたことの一つとして、「この話、人が死にすぎるんじゃないですか。」と。それに対しての彼の応えは、「人は必ず死ぬ。だからこそ、生きている時をいかに有意義なものにするかが大事なのではないか。自分はそちらに重きを置きたい」。なるほど、この小説、人間の死があまりに突然、しかもあっさり訪れるので、最初は「死」にしか目が行かなかった。しかし、いくつかの「死」に触れる内に、きっとこの人物も死ぬのかもしれない、じゃあ、死ぬまでの生き方はどうか、という見方で読んでいた自分がいた。なるほど、と何かがずんと落ちた思いだった。自分はどう生きているのか、今の生き方はどうか、振り返るよい機会になる、そういう本だった。(S)



「劇場建築とイス 客席から見た小宇宙1911-2011」

★日本を代表する劇場・ホール約60館を選び、500点ものカラー写真で紹介



横須賀芸術劇場



ホールは芸術だ！という感動が広がる。その美に加え、椅子の焦点を当てたその目の付け所が面白く、客席からではわからない椅子の美は、ステージからの景色で明確に示される。しかし、木のイメージはそれだけでは無さくない。天井、壁、外観全てが統一された美であることをこの写真集は教えてくれる。



書名：本屋がアジアをつなぐ
著者：石橋毅史
出版：青side

★出版ジャーナリストの石橋毅史が、国境をひとつ超えて出会った「本屋」たちの物語り。



書名：悩みぬく意味
著者：諸富祥彦
出版：幻冬舎
「何かモヤモヤする、気持ち悪い」
このような気持ちにピントを合わせた一冊です。

※最後まで読むことが重要です。

(司書田所先生お薦め！)

～興味ある本を探してみてね～



書名：クスのノキの番人
著者：東野圭吾
出版：実業之日本社
東野圭吾最新作！伏線をすべて完璧に回収してくれる作者の手腕は流石！人間生来の優しさに触れ、心温まるミステリーファンタジー。

- 「弟子・藤井聡太の学び方」 杉本昌隆
- 「90分でわかるアニメ・声優業界」 落合真司
- 「あなたは何で食べてますか？偶然を仕事にする方法」 有北雅彦
- 「わたしは本屋が好きでした あふれるヘイト本、つくって売るまでの舞台裏」 永江朗
- 「5分間リアル脱出ゲームDisneyMagicalEscapeBook」 SCRAP
- 「主夫になってはじめてわかった主婦のこと」 中村シェフ
- 「ふたりは同時に親になる」 狩野さやか
- 「マインドトーク -あなたと私の心の話-」 みたらし加奈
- 「自分がきらいなあなたへ」 安積遊歩

★が付いている解説は、アマゾン商品説明からの引用(または一部引用)です。